

13 簡易水道事業会計

令和3年度より地方公営企業会計基準に則った会計制度への移行を行なった。

1. 収支の状況

(1) 収益的収支の状況 (3条決算)

収益的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	決算額 (3年度)		決算額 (4年度)		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
簡易水道事業収益	137,699,712	100.0	157,751,098	100.0	20,051,386	14.6
1. 営業収益	96,143,572	69.8	95,494,697	60.5	△648,875	△0.7
2. 営業外収益	41,556,140	30.2	62,256,401	39.5	20,700,261	49.8

収益的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	決算額 (3年度)		決算額 (4年度)		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
簡易水道事業費	149,365,961	100.0	147,189,005	100.0	△2,176,956	△1.5
1. 営業費用	130,763,903	87.6	132,484,978	90.0	1,721,075	1.3
2. 営業外費用	16,489,091	11.0	14,704,027	10.0	△1,785,064	△12.1
3. 特別損失	2,112,967	1.4	0	0	△2,112,967	皆減

○収益的収支について

本年度の簡易水道事業収益は157,751,098円であり、内訳として水道使用料及び量水器使用料95,074,697円、手数料420,000円、一般会計繰入金35,133,000円、長期前受金戻入27,085,086円、受取利息157円、雑収益38,158円となった。簡易水道事業費用は147,189,005円であり、内訳として原水1,608,184円、浄水費18,421,087円、配水費6,669,373円、総係費10,425,738円、減価償却費94,311,353円、資産減耗費1,049,243円、支払利息9,482,627円、消費税及び地方消費税5,221,400円となった。

(2) 資本的収支の状況 (4条決算)

資本的収入 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

科目	決算額 (3年度)		決算額 (4年度)		前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
資本的収入	41,529,735	100.0	282,500,000	100.0	240,970,265	580.2
1. 企業債	10,200,000	24.6	19,300,000	6.9	9,100,000	89.2
2. 一般会計繰入金	25,165,000	60.6	13,566,000	4.8	△11,599,000	△46.1
3. 補償金	6,164,735	14.8	248,734,000	88.0	242,569,265	3,934.7
4. 基金繰入金	0	0	900,000	0.3	900,000	皆増

資本的支出 科目別予算・決算比較表

(単位：円、%)

区分 科目	決算額（3年度）		決算額（4年度）		翌年度 繰越額	前年度 比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比			
資本的支出	96,450,515	100.0	231,249,169	100.0	280,868,000	134,798,654	139.8
1. 建設改良費	11,407,000	11.8	145,896,572	63.1	280,868,000	134,489,572	1,179.0
2. 固定資産購入費	0	0	628,815	0.3	0	628,815	皆増
3. 企業債償還金	73,179,466	75.9	79,506,625	34.4	0	6,327,159	8.6
4. 基金積立金	11,864,049	12.3	5,217,157	2.2	0	△6,646,892	△56.0

○資本的収支について

本年度の資本的収入は282,500,000円であり、内訳として企業債19,300,000円、一般会計繰入金13,566,000円、補償金248,734,000円、基金繰入金900,000円となった。

資本的支出は231,249,169円であり、内訳として水道施設費10,161,800円、リニア関連水道水源対策事業135,734,772円、固定資産購入費628,815円、企業債償還金79,506,625円、基金積立金5,217,157円となった。建設改良費280,868,000円を次年度へ繰越した。

本年度の水道施設費は、老朽化した施設の機器等更新（三留野浄水場機器整備更新、大山高区後次亜注入設備更新、大山低区配水池次亜注入設備更新）及び町道坂の下線消火栓移設工事、量水器取替工事を行った。

2. 事業の実績

(1) 簡易水道の状況及び実績

区 分	三留野・ 妻籠	北部	大山・蘭	川向	田立	合計
計画給水人口（人）	1,676人	281人	735人	345人	964人	4,001人
給水区域内現在人口	1,425人	237人	654人	276人	816人	3,408人
現在給水人口（人）	1,422人	232人	654人	276人	815人	3,399人
給水戸数（戸）	663戸	91戸	298戸	124戸	347戸	1,523戸
水源の種類	表流水	1		1	2	4
	伏流水			2	1	4
	湧水	2	4			6
一日平均配水量（m ³ ）	626 m ³	131 m ³	381 m ³	198 m ³	278 m ³	
一日最大配水量（m ³ ）	710 m ³	172 m ³	492 m ³	336 m ³	343 m ³	
年間配水量（m ³ ）	228,400 m ³	47,978 m ³	138,928 m ³	72,440 m ³	101,472 m ³	589,218 m ³
有収水量（m ³ ）	152,904 m ³	25,459 m ³	92,244 m ³	32,372 m ³	80,340 m ³	383,319 m ³
有収率 令和3年度	65.0%	54.5%	63.7%	53.2%	81.1%	65.3%
有収率 令和4年度	66.9%	53.1%	66.4%	44.7%	79.2%	65.0%

- ・給水原価（水道水 1 m³当たりの製造単価）
＝経常費用（営業費用＋営業外費用）－長期前受金戻入÷有収水量＝293.8 円（前年度 287.1 円）
- ・供給単価（水道水 1 m³当たりの販売単価）
＝料金収入÷有収水量＝226.1 円（前年度 293.8 円）
- ・資本費
＝（地方債償還金＋支払利息）÷有収水量＝232.2 円（前年度 216.9 円）

(2) 使用料関係

①料金

下記の使用料は平成 30 年度に改定されたものである。人口減に伴う料金収入の減少と施設の老朽化が今後顕著になることが見込まれる中、持続可能な水道事業の経営をしていくため、定期的に料金設定の見直しについて検討していく。

②メーター検針業務の外部委託

平成 18 年 4 月からメーター検針業務を町内民間の方 4 名に委託している（検針は 2 ヶ月に 1 回実施）。平成 30 年度からは検針員の業務中の事故について保険対応ができるよう個人委託員傷害保険に加入している。

③料金システム

（株）電算の水道料金システムを利用し、料金徴収事務を実施した（平成 18 年 4 月から）。

④水道使用料（消費税抜き）

（単位：円）

口径別	基本料金		超過料金 (1 m ³ 当たり)	
	1 ヶ月当たり	円		
φ 13mm	10 m ³ まで	1,638	11 ～ 20 m ³	163
φ 20mm		1,844	21 ～ 40 m ³	183
φ 25mm		2,152	41 ～ 60 m ³	224
φ 30mm		2,766	61 m ³ ～	245
φ 40mm		3,380	プール	71
φ 50mm		3,894		
φ 75mm		4,610		

⑤量水器使用料（消費税抜き）

（単位：円）

口径別	φ 13mm	φ 20mm	φ 25mm	φ 30mm	φ 40mm	φ 50mm	φ 75mm
1 ヶ月	152	286	306	512	603	2,213	3,565

⑥新設改造審査及び検査手数料

（単位：円）

口径別	料金	口径別	料金
φ 13mm	25,000	φ 40mm	38,000
φ 20mm	28,000	φ 50mm	40,000
φ 25mm	34,000	φ 75mm	78,000
φ 30mm	36,000		

⑦給水再開手数料

1 件 5,000 円

⑧納付方法 使用料の徴収は、現金納付と口座振替納付の 2 種類で対応している。

⑨徴収状況

(単位：円)

使用料区分		調定額	収納額	未収額	収納率	不納欠損	
水道 使用料	現年度分	4年度	89,865,292	88,921,697	943,595	99.0%	0
		3年度	90,397,457	89,455,930	941,527	98.9%	0
	過年度分	4年度	3,459,956	657,845	2,653,887	19.0%	166,224
		3年度	3,287,585	769,156	2,518,429	23.4%	0
	4年度合計		93,325,248	89,579,542	3,579,482	96.0%	166,224
量水器 使用料	現年度分	4年度	5,209,405	5,152,890	56,515	98.9%	0
		3年度	5,287,115	5,234,129	52,986	99.0%	0
	過年度分	4年度	188,305	65,006	107,991	34.5%	15,308
		3年度	139,993	34,400	105,593	24.6%	0
	4年度合計		5,397,710	5,217,896	164,506	96.7%	15,308
4年度 合計		98,722,958	94,797,438	3,743,988	96.0%	181,532	

⑩滞 納

以下のとおり滞納整理を実施し、過年度分の収納率向上に繋げた。

○現年度のみ滞納がある滞納者へは電話と文書による催促を実施した。

○現年度と過年度に滞納がある滞納者へは、電話と文書による催促に加え臨戸徴収を実施し、状況に応じて給水停止や取立訴訟を行う可能性がある旨の説明を行った。

(3) 施設維持管理 (税込)

①主な原水修繕工事

大山高区水源取水堰堤スクリーン修繕	520,040 円
大山高区取水口整備	352,000 円
大山高区取水口排水工事	374,000 円
妻籠水源原水流量積算機器更新	242,000 円

②主な浄水場修繕工事 (税込)

三留野浄水場給水ユニット修繕	748,000 円
大山高区 PAC 注入ホース修繕	110,000 円
三留野浄水場真空ポンプ槽電極修繕	99,000 円

③主な配水管修繕工事 (税込)

大山高区フラッシュミキサ更新	627,000 円
岩倉低区減圧槽フロート弁更新	1,485,000 円
田立中区浄水場 UPS 更新	583,000 円
砂地沢水管橋修繕	451,000 円
大山低区配水池防草シート	385,000 円

④水質管理

給水については毎月の定期項目検査、年1回の全項目検査、年1回の原水全項目検査、クリプト検査のほかに、消毒副生成物検査、臭気物質検査等を実施した。

施設管理については、遠隔監視装置による毎日の監視のほか、週2回各施設の巡回点検を実施した。

⑤汚泥搬出業務

三留野浄水場の汚泥搬出について業務委託により2回実施した。(3月)

合計処理量…6t 委託先：(有)田切クリーンセンター 上伊那郡飯島町

※処分汚泥に係る放射性物質測定を実施…各種放射性元素は検出されなかった。

(4) 上下水道審議会

1回の審議会を開催した。

◎第1回 … 10月31日(上下水道事業の現況について・小規模水道の現状について・公営企業会計の適用について・リニア中央新幹線計画への対応について)

(5) 建設改良事業

- ・令和4年度 三留野浄水場浄水機器更新工事
工事費 5,720千円(請負者：日本エンジニア(株))
- ・令和4年度 大山低区配水池次亜注入設備更新工事
工事費 1,540千円(請負者：日本エンジニア(株))
- ・令和4年度 大山高区浄水場後次亜注入設備更新工事
工事費 1,188千円(請負者：日本エンジニア(株))
- ・令和4年度 大沢田水管橋移設工事変更設計委託業務
委託料 902千円(請負者：共和設計(株))
- ・令和4年度 町道坂の下線改良工事に伴う消火栓移設工事
工事費 550千円(請負者：(有)平田管業店南木曾営業所)

(6) リニア中央新幹線工事にかかる水道水源対策

リニア中央新幹線工事計画に伴う水道水源の減濁水対策について、水道水源予備的措置に係る設計業務を委託し、詳細な設計に入った。

- ・令和3年度 リニア関連 水道水源予備的措置に係る設計業務 (令和3年度から繰越)
委託先：共和設計株式会社 長野市
委託費：67,364,000円
- ・令和4年度 リニア関連 水道水源予備的措置水道管布設工事を第1工区から第8工区まで発注を行った。

(7) 地方公営企業法適用推進

令和3年度に特別会計から公営企業会計へ移行した。

3. 地方債の状況

地方債の償還額及び未償還金元金残高

(単位：円)

起債名	3年度末	3年度中増減		4年度末
	未償還元金	借入金	償還元金	未償還元金
辺地対策事業債	1,800,182		299,955	1,500,227
過疎対策事業債	27,000,000		1,776,356	25,223,644
川向簡易水道事業債	10,244,557		939,634	9,304,923
大山・蘭簡易水道事業債	64,794,067	13,000,000	18,644,928	59,149,139
田立簡易水道事業債	269,068,861		23,714,023	245,354,838
北部簡易水道事業債	4,677,814		455,826	4,221,988
三留野・妻籠簡易水道事業債	178,790,058	6,300,000	26,168,736	158,921,322
補正予算債	3,717,594		643,128	3,074,466
公営企業会計適用債	12,318,750		1,087,500	11,231,250
災害復旧債	25,566,020		5,776,539	19,789,481
合 計	597,977,903	19,300,000	79,506,625	537,771,278

(別表1)

令和4年度簡易水道関係主要事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	繰越金		一般財源
○施設更新改良事業										
令和4年度 大山高区流量計及及び配水管移設工事	町	工事 一式	33,500		23,600			500	9,400	令和5年度へ繰越 その他：補償費
令和4年度 三留野浄水場浄水機器更新工事	町	工事 一式	5,720		5,700			20		
令和4年度 大山低区配水池次亜注入設備更新工事	町	工事 一式	1,540		1,500			40		
令和4年度 大山高区浄水場後次亜注入設備更新工事	町	工事 一式	1,188		1,100			88		
令和4年度 大沢田水管橋移設工事変更設計委託業務	町	設計業務 一式	902					82	820	その他：補償費
施設更新改良事業合計			42,850	0	31,900	0	0	730	10,220	
○リニア建設関連水道水源対策事業										
令和3年度 リニア建設 水道水源予備の措置に係る設計業務	町	設計業務 一式	67,364						67,364	令和3年度から繰越 その他：補償費
令和4年度 リニア建設 水道管布設工事を第1工区	町	工事 一式	30,712						30,712	その他：補償費
令和4年度 リニア建設 水道管布設工事を第2工区	町	工事 一式	31,922						31,922	その他：補償費
令和4年度 リニア建設 水道管布設工事を第3工区	町	工事 一式	41,360						41,360	令和5年度へ繰越 その他：補償費
令和4年度 リニア建設 水道管布設工事を第4工区	町	工事 一式	46,200						46,200	令和5年度へ繰越 その他：補償費
令和4年度 リニア建設 水道管布設工事を第5工区	町	工事 一式	31,570						31,570	令和5年度へ繰越 その他：補償費
令和4年度 リニア建設 水道管布設工事を第6工区	町	工事 一式	33,000						33,000	令和5年度へ繰越 その他：補償費
令和4年度 リニア建設 水道管布設工事を第7工区	町	工事 一式	28,270						28,270	令和5年度へ繰越 その他：補償費
令和4年度 リニア建設 水道管布設工事を第8工区	町	工事 一式	29,700						29,700	令和5年度へ繰越 その他：補償費
リニア建設関連水道水源対策事業合計			340,098	0	0	0	0	0	340,098	
合計			382,948	0	31,900	0	0	730	350,318	

(単位：千円)